

まちづくりオープンミーティング 意見・質問概要

日 時:令和7年 7 月 13 日(日) 14:00~15:30

会 場:東加古川公民会館 14人

視聴者数:Instagram 207 人 (最大同時接続数 20 人)

YouTube 685 人 (最大同時接続数 105 人)

会場

No.	種別	内容
1	意見	日岡山公園では毎日のようにグラウンドゴルフが行われており、こどもが近くで遊んでいるとあっちに行けと怒鳴られている。グラウンドゴルフ利用者に注意しても「市の許可を得ている」と言われるため、みどりの管理事務所に相談しているが改善されない。周囲には自転車置き場やベンチもあるが危険であり使用できない。公園内の安全のため、グラウンドゴルフの許可をしないでほしい。また、許可をする場合でも、他の利用者の安全を考慮し、注意事項の明示や条件付きでしてほしい。
	回答	グラウンドゴルフをしている利用者が、他の利用者に厳しく接しているようであれば問題である。今年第2回目のオープンミーティングにおいて、日岡山公園でのグラウンドゴルフ利用者から使用できなくなった C コートを再開してほしいという意見を受け、現地を確認してきた。高齢化が進む社会においては、高齢者が日常生活にスポーツや運動を取り入れていただく機会を増やすことも目指すところではあるため、安全対策を講じるなど、皆さんが安心して利用できる方法を模索したい。
2	意見	こどもが学校で運動会の練習中に熱中症の症状を訴え、救急搬送された。保健室では、同様の症状を訴えるこどもであふれており、保健室に入りきれず廊下にベンチを置いて寝かせている状態であった。前日にも搬送された児童がおり、毎年このようなことが起きていると聞いたが、熱中症で搬送された児童数を把握しているか、どのような対策をしているか。また、学校行事の実施時期や方法の見直しを検討しているか。
	回答	まずは、保健室に入りきれないくらい一斉に熱中症の児童が出たかは確認したい。教育委員会でも暑さ指数で一定の基準を超えると屋外での活動を中止する基準を決めて対応している。基準以下でそのような状態であったのであれば、さらなる対応を検討すべきだと思うので、ご意見を教育委員会と共有する。 また、学校行事の時期などについては、運動会の実施時期やプールの授業方法などを変更してきている。
3	意見	野口町水足地区では、高齢者の交通手段がなく困っている。かこバスのようなコミュニティバスを野口町北野・水足・北野新田・石守地区にも回してもらえないか。 または、障がい者に交付しているタクシー券を後期高齢者にも交付してもらえないか。
	回答	交通に関する市民満足度を改善するため、市では1億円以上の予算規模で取り組んでいる。一番悩ましいのは駅から歩くと数十分かかるような地域で、既存のタクシー事業者や神姫バス

		の路線と重なり、公共の事業を当てられない部分がある。 野口町の北部地域へのかこバスルートの延長は、以前から再三検討されている課題である。かこバスミニであれば、路線を一緒に考えて、バス・タクシー事業者の納得を得ながらルートを決め導入していくことは十分検討できるので、所管部署と話し合っていきたい。 タクシー券については、後期高齢者が4～5万人以上いる中での配布は財政的に難しく、また、地区によってはタクシーを呼んでも来てもらえない地域もあることから、タクシー券で解決する問題ではないと考えている。 国でもライドシェアの規制緩和の動きがあるが、市でできることを検討していきたい。
4	意見	潜在保育士が現場に戻れるためにどのような支援・対策をしていきたいか。 保育士自身も子育てをしている人もいるので、子育てしながらでも働きやすくなるよう、県や国に要望してほしい。
	回答	加古川市で保育士になっていただいた場合、6年目まで一時金を支給したり、宿舍入居者への家賃の一部を補助したりと支援している。 現場の皆さんからも改善すべき点など具体的なものがあればご提案いただけるとありがたい。 全国に共通する課題など、県や国に要望すべきところはしていきたい。
5	意見	家族の介護認定申請をしたいと相談した際、65 歳未満が対象になる病気ではないと断られた。病名ではなく、症状を見て認定できるように改善してほしい。
	回答	介護保険制度は介護保険法で定められた国の制度である。元々高齢者を想定した制度であるため、40～64 歳の方は介護保険法上 16 種の特定疾病に該当する場合のみに限定されている。市の判断では変えられないため、国に意見を上げていく。 一方、一定期間の治療後にも障害が残る場合は、障害者手帳の交付も含めて、障がい者支援課にて対応する。障害者手帳の申請までには一定期間を設けているが、何かできることがないのかは障がい者支援課とも話し合いたい。
6	意見	加古川市を盛り上げていく上で、行政と市民が一体となって取り組むことが必要であり、今以上に市民を巻き込む努力が必要だと考える。市長からのメッセージがほしい。
	回答	市長に就任して以来、公開事業評価やオープンミーティングなどを実施してきたが、オープンミーティングについても会場開催は難しくなっていると感じているが、要望があるときに声を上げられる機会があることは大切だと思って続けている。
7	意見	災害時の給水について、高齢者は給水場所までの交通手段がなければ給水できない。そういった場合に備えて、給水車はどの程度確保されているか。
	回答	給水タンクや防災井戸がある場所や、飲み水を初めとした備蓄もある。具体的な数字は確認する。 ⇒市では給水車2台を保有しているほか、災害の規模に応じて他の自治体にも応援要請を行い、支援を受けながら各所での応急給水を実施している。また、市内各施設での飲み水の備蓄や災害時協力井戸の登録制度など、給水車以外の対策の充実も図っていく。
8	意見	行政は縦割りで、自分の部署の業務しかわからないという状態があるため、横のつながりも充実させてほしい。

	回答	個人の職員が仕事に当たる上で、すべての職員がすべての分野を把握し即座に対応するのは現実的に難しいが、行政手続き等でできることは取り組んでいる。横断的な対応の例としては、亡くなられた方の手続きを一元的に対応するおくやみコーナーがあり、ご好評をいただいている。分かりやすくまとめて案内できるよう心掛けているが、出来る限りニーズに応えられるよう今後も取り組んでいきたい。
9	意見	町内会やボランティアなどがごみ拾いをしているが、拾っても拾ってもごみが出てくるもどかしいところがある。頑張っているボランティアを褒めたたえるような啓発をしてもらえないか。
	回答	ごみ拾いに限らず、ボランティア活動をしていただいている個人・団体はたくさんある。長年役員を務められた方などへの表彰は定められたものがある。 一方、市が把握していないところでも活動してくださっている方に感謝を伝えられていないことは心苦しく思っている。感謝のメッセージを広く発信できるような機会も考えたい。

ライブ配信

No.	種別	内容
1	意見	青色防犯パトロールについて、登下校の時間帯の小中学校周辺のパトロールを増やしてほしい。
	回答	青色防犯パトロールは、シルバー人材センターに委託して実施している。要望に応じて時間帯も広げてきた経緯もあるので、現在パトロールしている範囲も確認し、登下校時のパトロールも含めて対応できないか相談していきたい。
2	意見	若い人が選挙の投票に行くきっかけづくりとして、投票証明書割など、市として費用負担をせずにできることはないか。
	回答	投票に行ったらなにかがもらえるというようなことは過去から常に議論はある。割引については店舗との調整が必要となると考えている。 政治に関心を持って投票に来てほしいという思いはある。SNSも選挙に影響を与えるようになってきているので、SNSを通じた啓発もこれまで以上にできると思うので、選挙管理委員会とも意見を共有したい。

事前質問

No.	種別	内容
1	意見	トイレの洋式化について、校舎内は完了しているが、屋外トイレが和式のままである。屋外トイレの改修工事の進捗を教えてください。
	回答	校舎内のトイレの洋式化は今年度末までに完了予定としており、屋外トイレについても今年度は平岡北小学校、中部中学校、別府中学校で改修を予定している。その他の学校についても令和9年度には屋外トイレの洋式化が完了するように取り組んでいる。
2	意見	物価高騰により、学校給食の量が減ったり質が落ちたりしないか心配している。市として取り組んでいる対策などを教えてください。
	回答	食材費の高騰については、一般会計からの繰り入れにより補填し、保護者負担の給食費を値

		上げないように抑えている。国でも中学校給食の無償化が検討されているが、無償化され国が財政負担をした場合でも、献立など市の裁量の部分もあるので、必要な栄養を摂取できるよう質を考えて取り組んでいきたい。
3	意見	別府駅に特急が停まるようになって以降、自転車の無料駐輪場が乱雑になっている。無料駐輪場の拡大を検討してほしい。
	回答	昨年度と比較すると駐輪数が 80 台程度増加しているのを確認している。西側の駐輪場が混雑しているが、東側の駐輪場には余裕がある。できる限り東側を利用してほしい。また、東側駐輪場の拡充も検討している。
4	意見	保育料無償化の年齢制限を撤廃する予定はあるか。
	回答	保育料無償化の年齢制限撤廃については、本来、国レベルですべきことだと考えており、市として行う予定はないが、ご意見として受け止めたい。
5	意見	町内会非加入の人が、町内会が管理運営しているゴミステーションを利用するケースがある。ゴミステーションを利用するのであれば町内会に入るようメッセージを出してほしい。
	回答	町内会非加入者のゴミステーション利用については、全国的にも訴訟になっているケースもある。非加入者にゴミステーションの利用を禁止すると、市民としてごみ収集を利用できる権利を奪うことになる。判例では、町内会費を用いて管理運営しているゴミステーションを利用する場合の金額を提示しているケースもある。町内会に加入しないにしても利用するサービスについて一定の負担が必要との考えなのだと思う。